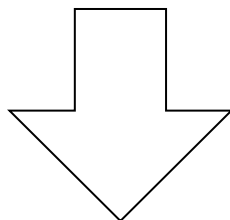


令和5年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 5年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 誰に何を伝えたいかを明らかにするため、事実と感想、意見を区別したり、表現を工夫したりして、自分の考えをまとめ、話す、書くなどして、相手に確かに伝えること。 文章の全体像を把握し、文章を基に、必要な情報を選んだり、人物の相互関係などを捉えたりして、論の進め方や表現の効果を考えながら読むこと。 互いに話したり聞いたりして考えや思いを共有し、自分の考えを広げること。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体を、どのような構造で文章が構成され書かれているかを、場面や質問項目を分けながら、つかませていく。 既習漢字が使えるように漢字テストを取り入れ、いつも使えるようにする。 言葉の意味調べを単元ごとに取り入れ、語彙を増やす。 根拠となる叙述や描写を明らかにした考えをまとめるようにする。 話す時・聞く時のきまりを決め、他者の意見を繋いでいくようにする。考えの変化や気づきをノートに記述するよう声を掛ける。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 表やグラフ・地図などから読み取った数値や事象を活用して、考えを表現し、まとめたり、友達の意見と比べて考えを広げたりすること。 調べる目的に応じて、資料集やインターネットなどから情報を探し、課題解決につなげること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の動機付けが図れるような身近な題材を取り上げた表やグラフ、地図などを定期的に授業の導入で活用し、読み取りの技術や考察における思考力の向上を図る。 単元の初めに、児童とともに学習課題を立て、教材に取り組みするための見通しをもたせて、集めるべき情報の観点を明確にした授業を組み立てる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 小数、整数の基礎的基本的な加減乗除のやり方を理解し、正しく計算すること。 未知の課題に取り組む際、既習事項を生かして取り組みの見通しをもち、粘り強く問題解決すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に合わせ、コースによって単元の指導計画や一単位時間の時間配分を変え、意味理解や技能の習熟に重点を置いて指導したり発展的な学習に繰り返し取り組んだりさせる。 指導者がこれまでの学習を想起させ、これまでの学習で生かせることがないか考えさせたり、類似点に気付かせたりする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事象、現象から疑問に感じたことを基に、自ら見通しをもって観察や実験を行い、問題解決していく力を身に付けること。 自然に親しみ、愛すると共に生活に生かそうとすること 	<ul style="list-style-type: none"> 条件制御の意味やそれによって結果がどうかわるかを考え話し合うことで多面的な見方をすることができるようにする。 直接触れたり、見たりできるものは授業で積極的に用いていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に適した課題を見付け、その課題解決のための方法を選んだり工夫したりして、運動に取り組んでいくこと。 運動の楽しさや喜びを味わいながら、技能を高めていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が見通しをもって課題解決に向けて学習を進められる学習カードを準備する。 児童の実態に合った場や用具を準備し、運動の特性を味わえるようにする。 友達同士で見合う場を作り、互いに良さや課題を伝え合い、めあてを達成できるようにする。 端的な発問を検討していく。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 教材を通じて、道徳的価値をよりよく生きる上で大切なことだと理解し、自分なりの考えをもつこと。 人との意見交流や自己の振り返りをする中で、物事を多面的・多角的に捉えて考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ねらいについての自分の考えが、深まったり変化したりしたことが分かるような板書の仕方に変える。また、教材をたどる板書ではなく、児童の気づきを中心に黒板に記録していく。 考えたことや実生活にいかそうとする心情を見取ることができるように、「自分だったらどうか」という観点で考える時間を意図的に設けたり、ノートに考えを残したりする。

総合	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を立て、必要な資料を集め、分かりやすく人に伝える力を身に付けていくこと。 ・調べたことを様々な方法でまとめ、発表したり発信したりしていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の導入を工夫し、児童が自ら課題を見付けられるようにしていく。また、映像や写真などの視聴覚教材を工夫し活用していく。 ・新聞、ポスター、図、表など効果的な表現方法を伝え、自分でまとめ方を選択し、発表できるようにしていく。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活体験を振り返り、自分の生活に役立つ工夫を考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の仕方に関する基礎知識を習得できるように、ワークシートなどを工夫していく。また、日常的な過ごし方の中でも、どのような取り組みがあるかを考えさせていくよう学期ごとに目標をたてていく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けること。 ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにすること。 ・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら様々な音楽に親しむとともに音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいを明確にし、旋律、リズム、強弱、速度、音色などと曲想との関わりについて理解できるようにする。運指や奏法の基礎を押さえ、スモールステップや発展的に工夫できる教材を選ぶようにする。 ・音楽を聴いて感じたこと、気づいたことを基に、互いの思いを共有しながら音楽表現ができるようにする。楽曲や演奏のよさを伝えるために、言語活動を通して、自分の思いや友だちの思いを交流させながら、音楽を味わって聴くことができるようにする。 ・導入時の音楽の出会いを既習事項と関連させながら工夫し、個人の学習活動を保証すると同時に、交流、ペア、グループ学習を有効に取り入れる。様々な音楽をバランスよく取り入れ、日常の音楽との関わりを意識できるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感覚や行為を通して、造形的な視点を持ち自分なりに形や色などを捉えること。また、これまでの経験や技能を活動に応じて活用すること。 ・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、発想や構想をし、主体的に表現すること。 ・親しみのある作品などを鑑賞し、自分なりに感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色からイメージをふくらませることができるよう、抽象表現にふれることができる題材に取り組む。また、既習の道具や材料については、活動に応じてできる範囲で児童からの申し出があれば使えるように用意しておく。 ・自分の表したいイメージに近づけるよう、繰り返し試しつくり変えることができるような題材や場の設定を行う。 ・自分たちの作品の他、芸術家の作品にも触れる機会をもつ。対話式鑑賞を行い、鑑賞のおもしろさを感じることができるようにする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に英語で尋ねたり発音したりして、英語表現に慣れ親しみ、話している表現の大体を理解すること。 ・日常生活に関する表現を覚え、友達と簡単なやりとりをしたり、自分のことを発表したりし、コミュニケーションをとること。 ・アルファベットの大文字、小文字を活字体で書いたり簡単な単語を書いたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語表現することを間違ってもよいことを伝えたり間違ってもよいという雰囲気をつくったりする。そして、warm-upなどで既習のセンテンスをつかって繰り返し尋ね合えるようにしていく。 ・ゲームや歌などを取り入れ、楽しく単語やセンテンスを覚えられるようにしていく。 ・補助線入りのドリルで、大文字、小文字を正しく書けるようにしていく。



	成果○ と 課題▼
国語	<p>○読み物教材の指導において、どのような構造で文章が構成され、書かれているかを児童につかませることで、見通しをもち学習に取り組む児童の姿が見られた。</p> <p>○根拠となる叙述や、描写を明らかにして考えをまとめさせることで、論の進め方や表現の効果を考えて読むことにつながった。また、振り返りで読みが深まったと記述する児童の姿もあった。</p> <p>▼互いに話したり聞いたりして考えや思いを共有し、自分の考えを広げられる児童がいる反面、交流そのものに意味を見出せない児童も一定数いる。また、考えの共有に理解を示すものの、考えの変化や気づきをノートに記述するといった表現までつながらない児童もいる。実態に即した声掛けや個別の支援を含めた指導を続ける必要がある。</p>
社会	<p>○表やグラフを読み取り、気付いたことや自分の考えをまとめることができた。</p> <p>○自分事として課題に取り組み、今後の自分の生活で必要なこと大切なことについて考えることができた。</p> <p>▼タブレットを活用して、まとめる・周知するなどの活動が少なかった。自分の考えを引き出し・伝えられるようにするためにタブレットを効果的に活用する。</p>
算数	<p>○単元の指導計画や一単位時間の時間配分を児童の実態に合わせて変えることで、児童の意味理解や、技能の習熟に重点を置いた指導ができた。また、発展的な学習に取り組ませることで小数、整数の加減乗除への理解をより深めさせることにつながった。</p> <p>○これまでの学習を想起させたり、類似点に気付かせたりすることで、既習事項を利用して問題に取り組もうとする児童の姿が見られた。</p> <p>▼小数の四則計算や、三桁以上の乗法・除法に苦手意識があり、習熟度の低い児童がいるので、定着を確実にするため、小問に繰り返し取り組ませていく。</p>
理科	<p>○話し合いで実験の仕方や方法をよく練り、自分がやってみたいという方法で実験を行えるようにした。</p> <p>○結果が正しく出ない班もあったが、友達の意見や結果を参考にして、原因を考え、自分の言葉でまとめることができた。</p> <p>▼予想を立てる際に、自分の考えを表現することにためらいがある児童がいるため、実験計画をより分かりやすく提示して考えを深められるようにする。</p>
体育	<p>○学習カードを活用し、自己の課題を見付け、その課題に対して振り返りを行った。めあてを一人一人が意識しながら活動に取り組み次時の学習の見通しをもつことができた。</p> <p>○ルールや場の設定を工夫したことで、一人一人が楽しく運動に取り組む姿が見られた。</p> <p>▼必要に応じて友達と見合ったり、タブレットを活用したりして、自分の課題を解決する方法を増やしていく。</p>
道徳	<p>○板書を児童が気付いたことを中心にして記録することで、個人の気づきを学級の気づきに広げ、深めていく事ができつつある。</p> <p>○「自分だったらどうするか」など自分ごととして学びをとらえることで、今後の変容に繋げていくきっかけづくりができてきた。</p> <p>▼経験の少ない児童の学びを深める手立てが十分に取れなかった。自分事として捉えられるような、より多くのアプローチを考えていく必要がある。</p>
総合	<p>○新聞、ポスター、図、表など効果的な表現方法を伝え、自分でまとめ方を選択し、発表できるようにしていくことで児童の主体的な学習態度につながった。また、映像や写真などの視聴覚教材を工夫し活用していくことで、児童の表現の幅も広がった。</p> <p>▼学習の導入を工夫し、児童が自ら課題を見付けられるようにしていくことに重点を置いたが、児童の課題意識と教師の指導との間に乖離が見られた。実態を把握し考慮した導入の工夫を続けていく必要がある。</p>
家庭	<p>○調理実習を通して正しい道具の使い方、材料の調理法について体験を通して学べたことはとても良かった。</p> <p>○手縫い、ミシン縫いの違いや良さを知り、友達同士で教え合うことができた。できることやできないことを補い合い、作業しやすい方法を考えてよりよい経験ができるようにしていきたい。</p> <p>▼調理や裁縫は、実習として面白みをもって取り組むことはできるが、毎学期に作った家庭での実践について触れる機会が少なかった。家庭で継続できる自分の仕事について常に意識できるようにしたい。</p>

音楽	<p>○授業のねらいを明確にし、児童の様子の見取りやワークシートによるやふりかえりを通して個々の到達度と課題を見取ることができた。</p> <p>○歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりと年間を通してバランスの取れた学習内容に取り組むことができた。</p> <p>▼限られた時間内での個々の歌唱やリコーダーなどの技能面での指導が十分ではなかった。思いを持ってそれを生かす技能を身に付ける継続的な時間の確保や、思いを表すための工夫の必要性を児童自身が主体的に感じ取り、生かしていけるような声かけ、範奏動画などの ICT の活用等、年間を通しての継続的な手立てを考える必要がある。</p>
図工	<p>○制作の途中で自然にお互いの表現を見て声を掛け合っていた。自然な形で、友達同士の良さや違いを認め合う姿が見られた。</p> <p>○安全指導を徹底し、正しい道具の扱いを学ぶことができた。</p> <p>▼より思考を高め、工夫をするように交流する時間を取る。また、タブレットで画像を調べ、そのまま作品にしようとする児童も見られたので、タブレットを使うタイミングや著作権の取り扱いの方法を考えていく。</p>
外国語	<p>○英語表現が間違ってもよいことを伝えたり雰囲気をつくったりしたことで、意欲的に既習センテンスをつかって繰り返し尋ね合えることができた。</p> <p>▼ゲームなどを取り入れ、楽しく単語やセンテンスを覚えられるように、引き続き工夫をしていく。</p>